

## 3. 市民アンケート調査結果概要

### (1) 調査の概要

#### ①アンケートの目的

市民の皆様の外出時の交通行動，現在の交通環境に関する満足度，今後の交通施策に関する意識等について把握し，将来の総合的な交通計画を策定する基礎資料を得るため，『市民の交通に関する意識アンケート調査』を実施した。

#### ②調査方法

1) 調査地域	柏市全域
2) 調査対象	市内在住の16歳以上の男女4,000人
3) 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
4) 調査方法	郵送による配布、回収
5) 調査実施期間	平成21年2月21日(土)～平成21年3月2日(月)

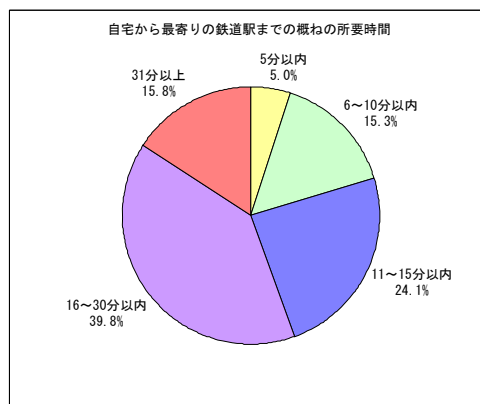
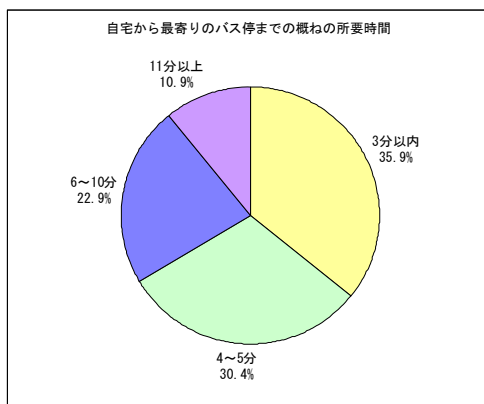
#### ③回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
4,000票	1,444票	36.1%

※ アンケート結果の詳細については、別冊で「市民アンケート調査集計結果編」があります。

## (2) バス停や最寄り駅までのアクセスについて

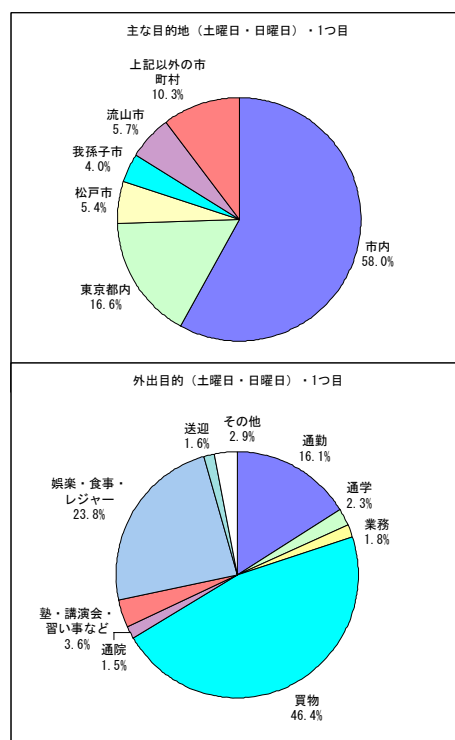
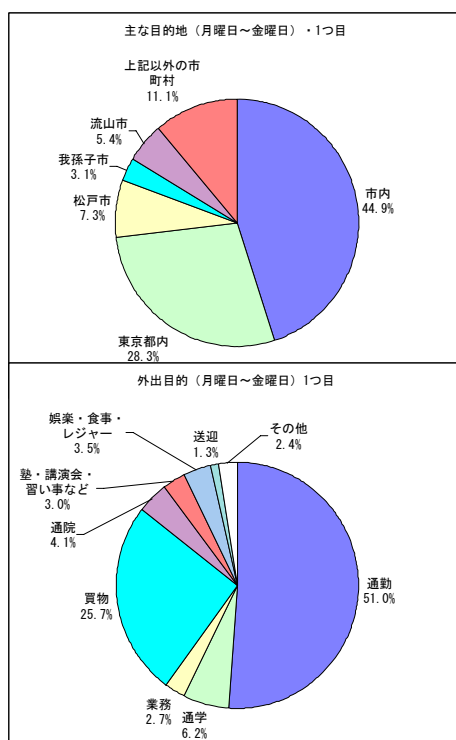
- ・最寄りバス停まで6分以上は33%，最寄りの鉄道駅まで16分以上は56%となっており，これらを合わせた公共交通空白地域（バス停から300m，駅から1km以上）の割合は約18%となっている。



選択項目		鉄道駅までの所要時間											
		総計		5分以内		6~10分以内		11~15分以内		16~30分以内		31分以上	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
バス停までの所要時間	全体	1,433	100.0%	71	5.0%	219	15.3%	345	24.1%	571	39.8%	227	15.8%
	3分以内	502	100.0%	30	6.0%	69	13.7%	127	25.3%	203	40.4%	73	14.5%
	4~5分	426	100.0%	20	4.7%	53	12.4%	93	21.8%	194	45.5%	66	15.5%
	6~10分	320	100.0%	6	1.9%	70	21.9%	65	20.3%	122	38.1%	57	17.8%
	11分以上	152	100.0%	10	6.6%	16	10.5%	51	33.6%	46	30.3%	29	19.1%
	無回答	33	100.0%	5	15.2%	11	33.3%	9	27.3%	6	18.2%	2	6.1%

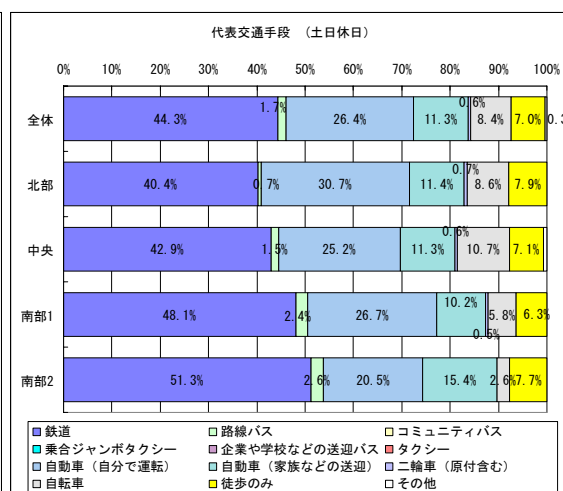
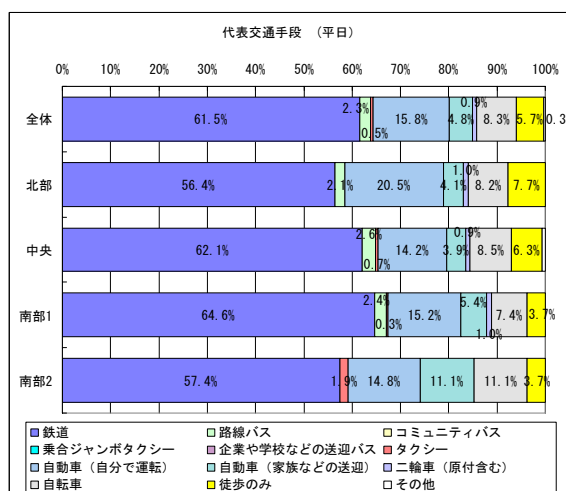
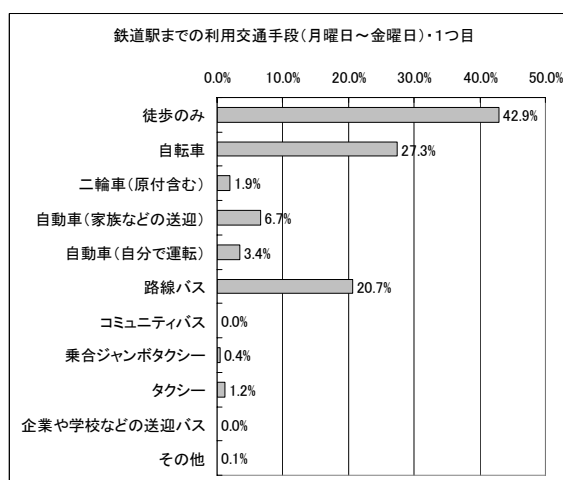
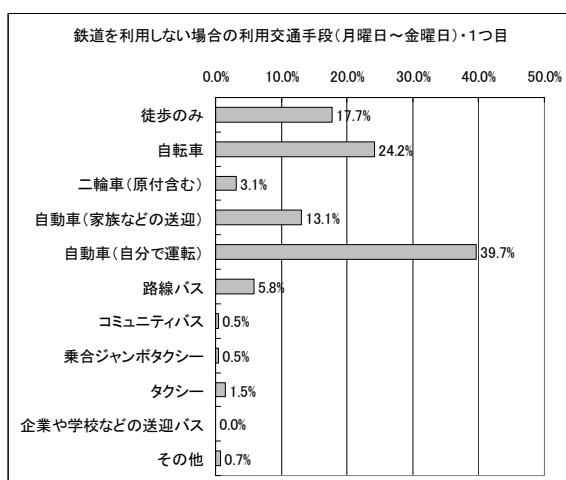
## (3) 市民の外出実態について

- ・平日では、「市外（東京都内，松戸市，我孫子市，流山市，上記以外の市町村）」の移動が多く55%，休日では「市内」の移動が増加し，58%となっている。
- ・平日の外出目的は，半数以上が「通勤」，休日では「買物」となっている。



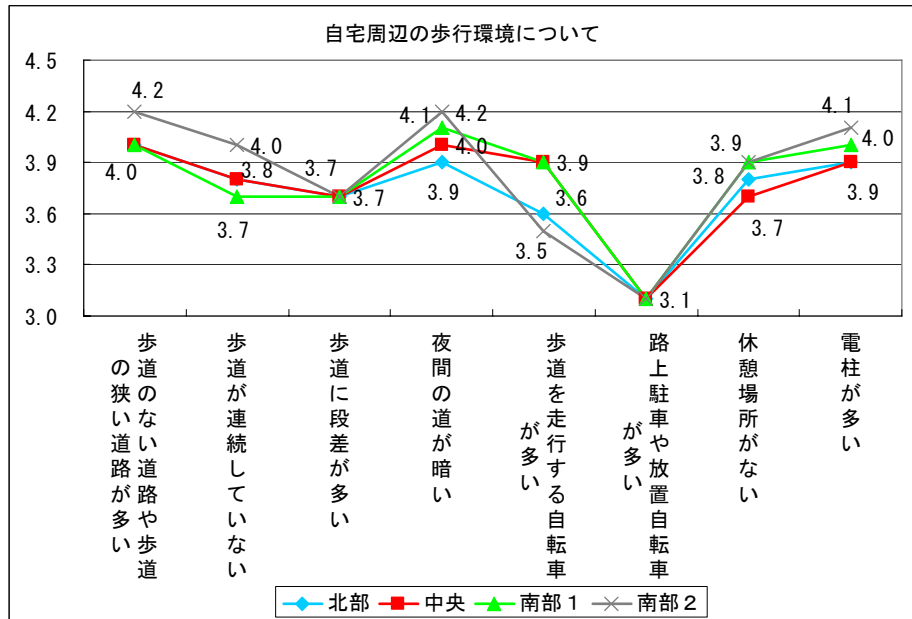
#### (4) 利用交通手段について

- ・「鉄道を利用しない場合の交通手段」は自動車が多く、次いで自転車・徒歩の順となっている。
- ・「鉄道駅までの利用手段」については、ほとんどが徒歩及び自転車利用であり、次いで路線バスとなっている。
- ・「代表交通手段」は、平日では「中央地域」と「南部1地域」で鉄道利用が60%を超えているほか、「北部地域」では「自動車（自分で運転）」が19.0%と、4地域の中で最も高くなっている。
- ・休日の「代表交通手段」は、軒並み「自動車（自分で運転）」の割合が増加する。



(5) 自宅周辺の歩行環境について

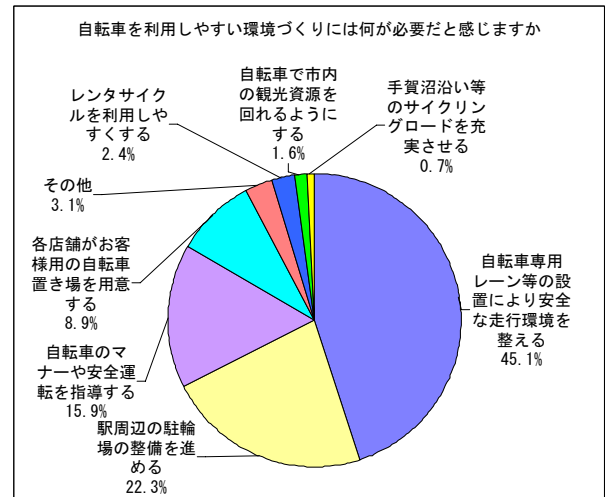
- ・自宅周辺の歩行環境については、最も「そう思う」のは、「歩道のない道路や歩道の狭い道路が多い」「夜間の道が暗い」で次いで「電柱が多い」の順となっている。



※「そう思う」5点、「どちらかというと思う」4点、「どちらともいえない」3点、「どちらかというと思わない」2点、「そう思わない」1点として加重平均値を算出

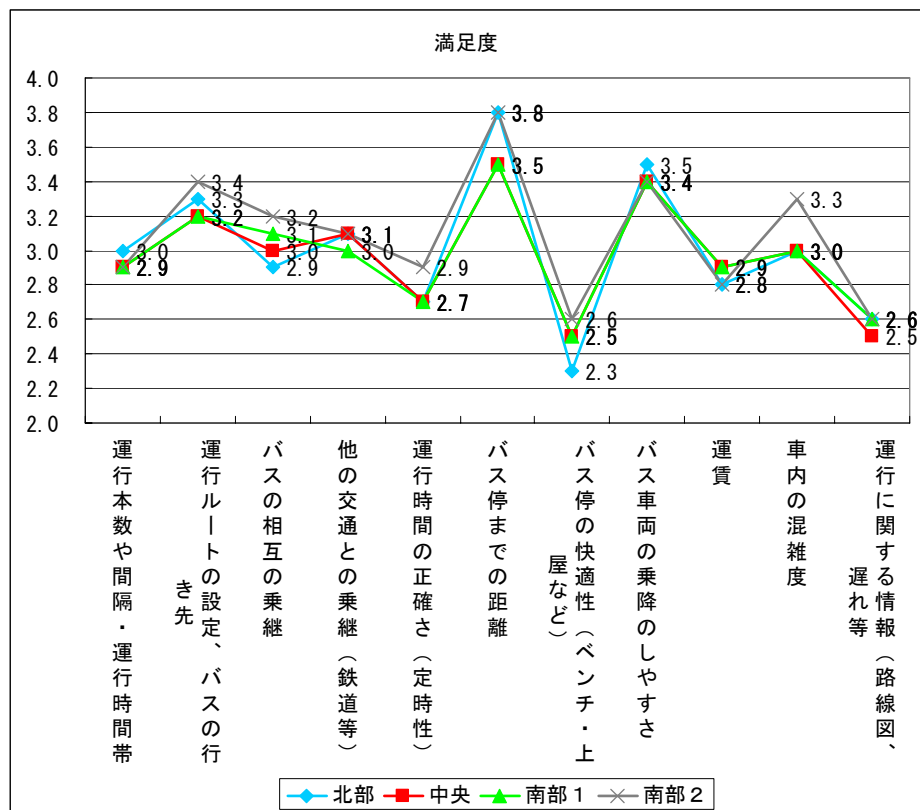
### (6) 自転車の環境づくりについて

- ・自転車の利用しやすい環境づくりでは、「自転車専用レーン等の設置による安全性の確保」が最も多く、通勤・通学で利用される駅周辺への「駐輪場整備」の回答も多くなっている。



### (7) バスの利用満足度について

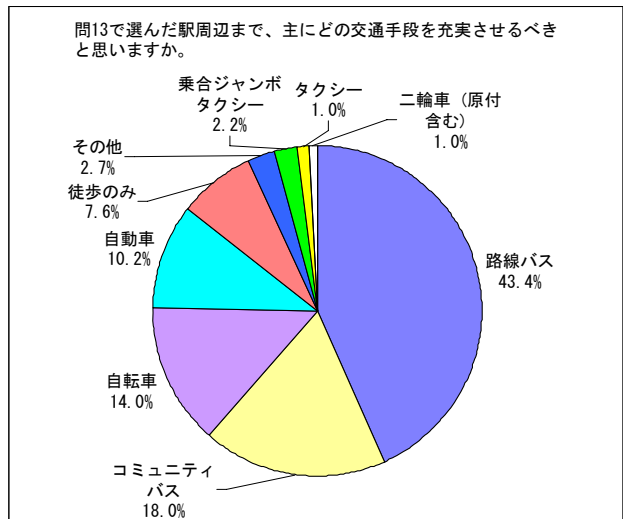
- ・バスの利用に対する満足度では、「バス停までの距離」が最も高く、次いで「乗降のしやすさ」となっており、「運行ルート」・「運行本数や間隔・運行時間帯」の満足度も高いことから、バス路線網に対しては、比較的満足しているといえる。
- ・「乗継」、「定時性」、「バス停の快適性」、「情報」など利用に関する事項に対して不満が高くなっている。



※「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として加重平均値を算出

### (8) 駅周辺の将来について

- ・「鉄道，バス，タクシー等の乗継がしやすい」，「道路，駐車場が整備され，自家用車を活用しやすい」，「自転車の走行環境が整備され駐輪場も使いやすい」などが多くなっている。



### (9) 今後10年を見通した交通環境の将来方向について

- ・10年後の交通環境においては、第1位に挙げられているのは「環境や健康づくりのため、自転車を活用しやすいよう、自転車専用レーンの整備などの走行環境を整える」となっている。また、「生活移動環境の向上のため、市内どこへでも移動できるよう、路線バスやコミュニティバスの運行を充実させる」では、上位3位まで選択されている回答数が最も多くなっている。

